

南三陸 復興まちづくり通信

第45号 (平成30年3月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

地域支え合い活動をたたえる

「S-1グランプリ いがす大賞」 「復興みなさん会」が受賞!

東日本大震災被災地域の復興を後押しする住民活動や地域支え合い活動をたたえる「第5回いがす大賞」の最終審査プレゼンテーションが2月24日、仙台市のせんだいメディアテークで開かれ、大賞(賞金10万円)に復興みなさん会が選ばれました。

選考会には、応募27団体の中から予選を通過した被災3県の7団体が出場。ふだん取り組んでいる活動を、画像・動画の投影や歌や楽器演奏、踊りや寸劇など、思い思いのパフォーマンスでアピール。当会からは「南三陸 椿ものがたり復興」として実施してきた、集会所でのお茶会や椿の避難路づくりなどの活動を、映像や紙芝居などでユニークに紹介しました。準大賞は、岩手・大槌町の買い物支援商業グループ「あるかさ〜る大槌」が受賞しました。

復興みなさん会のプレゼンテーション



被災地支援をたたえる「いがす大賞」
「復興みなさん会」受賞
東日本大震災後のユニークな被災地支援やコミュニティ活動をたたえる「第5回いがす大賞」の選考会が24日、仙台市青葉区のせんだいメディアテークであった。大賞に宮城県南三陸町の一般社団法人「復興みなさん会」を選び、賞金10万円を贈った。岩手・宮城・福島3県の復興・まちづくり団体などでつくる実行委員会の主催。選考会で、予選を通過した3県の7団体が活動内容を報告した。



平成30年2月26日
河北新報掲載

町産材の板倉の家完成 見学会に68人!

南三陸町戸倉の防災高台移転「松崎団地」に、100%南三陸町産材を活用した板倉の家が完成し(=写真)2月10日、見学会がありました。「南三陸木の家づくり互助会」が主催したもので、町内を始め気仙沼、登米、仙台の各市や、遠くは山形県など、広い範囲から過去最多の68人の見学者が訪れました。住宅建築を予定している人だけでなく、建設会社、工務店の担当者も来場するなど、木の家の人気の高さがうかがえました。





生涯学習センター着工！ 来春供用開始予定

(生涯学習センターの完成予想図＝南三陸町提供)

南三陸町生涯学習センター新築工事の安全祈願祭が1月23日に行われました。同センターは、被災した志津川公民館と町図書館の機能を集約した施設で、中央団地の入り口付近、志津川小学校の東

側に建設されます。木造平屋建てで、床面積は1,780㎡。図書館の蔵書は約10万冊。キッズスペースや音楽や趣味を楽しむコーナー、視聴覚室や大研修室も整備されます。来年4月にオープン予定です。



椿油のけんちん汁で親睦を深める

～戸倉公営住宅の入居者が交流会～

戸倉復興公営住宅の集会所で2月8日、復興みなさん会が主催する「椿油でけんちん汁を作ろう！」というイベントが開かれ、入居者など23人が参加しました。朝の体操をした後、全員が調理に参加。タネから絞った椿油を使って、大根、人参、ゴボウなどの野菜やキノコの入ったけんちん団子を作り、和やかに会食し交流を深めました。

公営住宅入居者が椿油のけんちん汁で交流

志津川中央復興公営住宅の集会所で1月20日、復興みなさん会が主催する「椿油でけんちん汁を作しましょう！」と銘打ったイベントが開かれ、入居者など18人が参加しました。昨年10月に自分たちで拾った椿のタネから絞った椿油を使って、大根、ニンジン、ゴボウ、油揚げ、シメジ、ネギなどの入った具だくさんの汁に団子を入れてけんちん団子を作り、会食をしながら親睦を深めました。



一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当会は今年度、トヨタ財団と大阪コミュニティ財団から助成をいただいで活動しています。